

経営情報学部 先端経営学科 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

1. 教育課程の編成及び特色

共通教育

本学の教育目的にある「生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成」という視野のもと、共通教育が定める人材像の育成を実現するために、「基礎教育科目」と「人間教育科目」から構成されるカリキュラムを定め、以下に示す科目をバランスよく学ぶことにより、本学の特色ある教養教育の目的を達成します。

- ① 「基礎教育科目」では、「人間教育科目」および専門科目を学ぶ上で基礎となる日本語力、論理的思考力、数的処理力、プレゼンテーション力およびコミュニケーション力を育成します。
- ② 「人間教育科目」では、中核的な必修科目群「情報とクリティカルシンキング」と、その基盤となる「人間」「社会」「自然」により、価値ある情報を見極める能力を高める能力を獲得するため、物事を幅広い視野からとらえる力と論理的思考力を育成します。「情報とクリティカルシンキング」には、「情報倫理」も配置しています。
- ③ 「総合」の科目群により、主体的に行動する基盤となる体力を育成します。また、国際交流科目により、異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材を育成します。さらに、キャリア教育により市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材を育成します。

専門教育

本学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げるコンピテンシーを達成するために、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。カリキュラムを体系的に学ぶために、ナンバリングを通して科目の履修順序などを表現し、IT経営コースと起業家育成コースに編成されたカリキュラムの構造を分かりやすく明示します。学生は、自分の関心に応じて、2年次のスタートアッププログラム（履修指導）においてコースの選択をします。以下のように、カリキュラムに基づいて学修することにより、特色ある専門教育のコンピテンシーを達成することを目的とします。

① コース共通のカリキュラム

IT経営コースと起業家育成コースに共通するカリキュラムの特色は、1年次から4年次までに履修すべき必修専門科目を2つのコースの共通科目とし、自分の関心に応じて履修する選択科目をそれぞれのコースに関連する形で配置していることです。選択科目は、選択したコースで履修することが推奨されている「コア選択科目（別表5の○印）」と自分の関心に応じて履修する「選択科目（別表5の無印）」に分かれています。

共通の内容としては、コンピテンシーを達成する基本科目として、1年次に「デジタルビジネス概論」、「ICT入門」、「ビジネスアプリケーションⅠ」「自己発見ゼミナール」を必修科目としたことです。

さらに、情報技術を活用した経営課題の解決の核心は、情報システムにあります。これを具体的な事例とともに学ぶ「情報システム学概論Ⅰ」（2年次）、「情報システム学概論Ⅱ」（2

年次)を両コースで推奨するコア選択科目として配置し、経営課題の発見と解決を総合的に考えることができる人材を育成します。

② IT経営コースのカリキュラム

IT経営コースは、経営学の専門教育科目を学修するにあたり、経営と情報技術の関連性からコンピテンシーを達成する科目として、1年次に起業家育成コースと共通する必修科目の他、2年次に「経営戦略論」、「プロジェクトマネジメント」などを、3年次・4年次には「デジタルマーケティング」、「BIとビッグデータⅠ」などの科目を推奨するコア選択科目として配置し、広い視野から経営課題を発見し、改善・改革を主体的に企画・推進できる人材を育成します。

③ 起業家育成コースのカリキュラム

起業家育成コースは、起業と情報技術の関連性からコンピテンシーを達成する科目として、1年次にIT経営コースと共通する必修科目の他、2年次に「ベンチャービジネス論」、「アントレプレナーシップ論」を、3年次・4年次には「地域連携論」、「マーケティングリサーチ」、「BIとビッグデータⅠ」などの科目を推奨するコア選択科目として配置し、マーケットの動向分析、ビジネスの創造や地域の活性化を推進できる人材を育成します。

2. 教育の方法

教育の方法については以下のように定めています。

① 基礎教育科目の配置

初年次教育科目を含む「基礎教育科目」は、1年生を対象とし、20人から40人の少人数でクラスを構成します。これにより、グループワークや少人数で行うアクティブ・ラーニングを行います。また、初年次教育科目では、タイムマネジメント、倫理、心と体の健康、クリティカルシンキングへの導入なども行います。タイムマネジメントでは、ラーニングマネジメントシステム上に本学が構築した「週ごとの時間管理システム」を活用します。

② 人間教育科目の配置

「人間教育科目」は、1年生から3年生に配置されます。多人数クラスになる科目がありますが、電子教科書やクリッカーおよび本学が開発したSNS授業ツールも活用することで、アクティブ・ラーニングによる主体的な学びの実現を目指しています。

③ 総合科目の配置

「総合」の国際交流科目では、学生を海外に派遣します。一部の国際交流科目では、海外の学生との協調学習によりグローバル人材を育成します。キャリア教育では一部で学習者適応型eラーニングを取り入れています。

④ 主体的に学ぶ科目の配置

先端経営学科で学ぶ意義・心構えを確立するため、またそれぞれのコースに則したコンピテンシーを意識させる科目として1年次に「自己発見ゼミナール(必修)」を配置しています。これは、6~7人のクラスを単位として教員と対話する形で行ないます。

⑤ 4年間の一貫した少人数専門教育の配置

1年次の「自己発見ゼミナール」、2年次の「プロジェクトゼミナールⅠ、Ⅱ」、3年次～4年次前期の「ゼミナールⅠ～Ⅲ」及び4年次後期の「卒業論文」を通じて専門知識を活用した問題の発見・解決の方法の修得をPBL（Project Based Learning）などで図り、少人数ゼミナールを4年間実施することで学生の能力を引き出します。

⑥ 経営学と情報技術の基礎の徹底

コンピテンシーを達成するための基本科目として、「デジタルビジネス概論」、「経営学への招待」、「流通の仕組み」、「自己発見ゼミナール」、「ICT入門」及び「ビジネスアプリケーションⅠ」を1年次に配置し、経営学と情報技術の基礎を早期に学習できる環境を提供します。

⑦ 専門性を高める実践教育

コア選択科目の「情報システム学概論Ⅰ」、「情報システム学概論Ⅱ」では学習者適応型eラーニングによって各自のペースで着実にデジタルビジネスの核心を修得します。IT経営コース特有の科目として、デジタル技術のビジネスへの豊富な活用事例を通して、デジタルビジネスを修得します。起業家育成コースでは起業実践の場としてアントレプレナーシップセンターと連携して起業家を育成します。

⑧ 社会連携

3年次には実社会での就労を経験する科目「インターンシップ」を提供します。学外プロジェクトへの参加の環境を提供することをとおして、社会性と実務遂行能力の修得をサポートします。

⑨ 教職系専門科目

教職「商業」（高校）および教職「情報」（高校）の免許を取得するために必要な専門科目を配置しています。

学修成果の評価は以下の方法で行います。

- ① 初年次教育科目などコミュニケーション力開発等の科目では、レポート・面接等で評価します。
- ② 健康とスポーツ等実技系の科目では、実技で評価します。
- ③ 知識伝達型の科目では、小テスト・定期試験・課題・レポート等で評価します。
- ④ 1年次の「自己発見ゼミナール」、2年次の「プロジェクトゼミナールⅠ、Ⅱ」では主体的な問題解決能力やグループへの貢献意識、プレゼンテーションによる発表能力などを、ルーブリックなどを用いて客観的に評価します。
- ⑤ 4年間の学修成果は卒業研究によって行います。「卒業研究」の単位認定条件としては、4年次に研究計画発表会、中間発表会および卒業論文発表会における発表を学生に求め、複数の教員の評価のもと、担当教員が合格を判定します。卒業時点で、GPA値の一番高い学生を成績最優秀者として選び、学位授与式において表彰します。

なお、コンピテンシー科目関連マップを別表3に示します。

3. コース別カリキュラムポイント

コース別カリキュラムポイントを別表4に、誰でもが履修すべき必修科目、選択したコースで

推奨されているコア選択科目および自分の関心に応じて履修する選択科目を別表 5 に示します。

4. コース別履修指導方法

履修指導は、スタートアッププログラムの日程の中で、全教員によって対面する形で行われます。1 年次は、IT 経営コース・起業家育成コースのいずれのコースを希望していても、2 年次以降の基礎となるコース共通の必修科目を履修するよう指導します。ただし、自由に選択できる科目を 1 年次に 4 教科配置しています。それらの科目は、その人の関心に応じて履修されるのが原則ですが、出来る限り履修するようにスタートアッププログラムの日程の中で指導します。2 年次の段階で、希望のコースを選択するよう学生に求め、コース別の履修方法を学生の関心に応じてスタートアッププログラム期間中に全教員で指導します。3 年次には、2 年次で選択したコースの科目を中心に学修するよう指導します。

5. 資格

以下に列記したような各種資格の取得を推奨しています。

IT コーディネータ補、IT パスポート、基本情報処理技術者、Web クリエータ認定試験、中小企業診断士、経営学検定試験初級、販売士・通関士 2 級、ビジネス法務 2 級、英検 2 級以上、TOEIC550 点以上、(国内・総合) 旅行業務取扱管理者、日商簿記検定 3 級以上、ファイナンシャルプランナー、社会保険労務士、証券アナリスト、税理士、公認会計士、高等学校教諭一種 (商業・情報)

別表3 先端経営学科 デジタルビジネス専攻 コンピテンシー・科目関連マップ（共通教育）
【教養教育科目】

授 業 科 目 の 名 称			コンピテンシー				
			A	B	C	D	
授 業 科 目 の 概 要	基 礎 教 育 科 目	教 養 基 礎	日本語表現Ⅰ		○		○
			日本語表現Ⅱ	○	○		
			基礎数学A	○			
			基礎数学B	○			
			ヒギナーズセミナーⅠ	○	○		
		ヒギナーズセミナーⅡ		○		○	
		外 国 語	基礎英語A			○	○
			基礎英語B			○	○
			英語表現ⅠA			○	○
			英語表現ⅠB			○	○
			実用英語A			○	○
			実用英語B			○	○
			英語表現ⅡA			○	○
			英語表現ⅡB			○	○
			職業英語A			○	○
			職業英語B			○	○
			初修外国語ⅠA			○	○
			初修外国語ⅠB			○	○
			初修外国語ⅡA			○	○
			初修外国語ⅡB			○	○
	初修外国語ⅢA				○	○	
	初修外国語ⅢB			○	○		
	人 間 社 会 自 然 科 学	信 息 と ク リ テ ィ カ ル シ ン ク ン グ	情報の世界		○		○
			情報倫理	○			○
			ヘルスリテラシー入門	○	○		
		人 間	心理学	○			○
			文学	○		○	
			歴史学	○	○	○	
		社 会	哲学	○			
			経済学Ⅰ	○	○		
			経済学Ⅱ	○	○		
			法学	○	○		
			社会学	○	○		
		自 然 科 学	憲法	○	○		
	国際関係論		○		○		
	線形代数Ⅰ		○				
	線形代数Ⅱ		○				
	関数の基礎		○				
	微分積分Ⅰ		○				
	微分積分Ⅱ		○				
	確率・統計Ⅰ		○				
	確率・統計Ⅱ		○				
物理学	○		○				
総 合	生物学	○					
	化学	○					
	健康とスポーツⅠ	○			○		
	健康とスポーツⅡ	○			○		
	健康とスポーツⅢ	○			○		
	健康とスポーツⅣ	○			○		
	海外事情(米国編)			○	○		
	海外事情(中国編)			○	○		
	国際コラボレーションA			○	○		
	国際コラボレーションB			○	○		
留 学 生 向 け 科 目	キャリアデザインⅠ		○		○		
	キャリアデザインⅡ		○		○		
	キャリアデザインⅢ	○					
	日本語Ⅰ			○	○		
日本語Ⅱ			○	○			
日本語Ⅲ		○		○			
日本語Ⅳ		○		○			
日本事情			○	○			

別表3 先端経営学科 デジタルビジネス専攻 コンピテンシー科目関連マップ(専門教育)

コンピテンシー一覧

コース	記号	コンピテンシー
IT経営コース	A	情報技術の本質を理解してデジタルビジネスを生涯にわたり主体的に企画・推進できる
	B	経営の専門知識と情報技術の活用方法を理解して、広い視野から豊かな社会を実現するデジタルビジネスを創造できる
	C	経営の専門知識と情報技術を活かして、広い視野から日常業務における問題を発見し、改善・改革を主体的に企画・推進できる
起業家育成コース	A	情報技術の本質を理解してデジタルビジネスを生涯にわたり主体的に企画・推進できる
	B	経営の専門知識と情報技術の活用方法を理解して、広い視野から豊かな社会を実現するデジタルビジネスを創造できる
	D	経営の専門知識と情報技術を活用してマーケットの動向を分析し、ビジネスの創造や地域の活性化を推進できる

コンピテンシー科目関連マップ

コース 科目名	IT経営コース			起業家育成コース		
	A	B	C	A	B	D
経営学への招待	○	○	○	○	○	○
流通の仕組み	○	○	○	○	○	○
デジタルビジネス概論	○	○	○	○	○	○
自己発見ゼミナール			○			○
プロジェクトゼミナールI	○	○		○	○	
プロジェクトゼミナールII	○	○		○	○	
ゼミナールI	○		○	○		○
ゼミナールII	○		○	○		○
ゼミナールIII	○		○	○		○
卒業論文	○		○	○		○
簿記原理システム論I	○	○	○	○	○	○
簿記原理システム論II	○	○		○	○	
経営戦略論	○		○	○		○
経営管理論	○		○	○		○
Webビジネス論	○	○		○	○	
ベンチャービジネス論	○		○	○		○
知的財産権論	○	○		○	○	
民法	○	○		○	○	
アントレプレナーシップ論	○	○		○	○	○
サービスマネジメント	○	○		○	○	
マーケティング論	○	○		○	○	○
マーケティングリサーチ	○	○		○	○	○
デジタルマーケティング	○	○		○	○	○
現代の財務会計論I	○	○		○	○	
現代の財務会計論II	○	○		○	○	
コンピュータ会計	○	○		○	○	
コストマネジメント	○	○		○	○	
企業倫理	○	○		○	○	
経営史	○	○		○	○	
商法	○	○		○	○	
流通システム論	○	○		○	○	
マネジメントサイエンス	○	○	○	○	○	
プロジェクトマネジメント	○	○		○	○	
インターンシップ	○	○		○	○	
SCM	○	○	○	○	○	
ERPシステム	○	○		○	○	
国際経営論	○	○		○	○	
地域連携論	○	○		○	○	○
現代の経営環境	○	○		○	○	
情報システム学概論I	○	○	○	○	○	○
情報システム学概論II	○	○	○	○	○	○
職業指導	○	○		○	○	
ICT入門	○	○	○	○	○	○
ビジネスアプリケーションI	○	○	○	○	○	○
Web技術基礎	○	○		○	○	
コンピュータシステムI	○	○		○	○	
コンピュータシステムII	○	○		○	○	
ビジネスアプリケーションII	○	○		○	○	

情報科学基礎	○	○		○	○	
IT戦略とマネジメントの基礎	○	○		○	○	
観光情報学入門	○	○		○	○	
システム開発基礎I	○	○		○	○	
システム開発基礎II	○	○		○	○	
ネットワークとセキュリティI	○	○		○	○	
Webアプリケーション開発	○	○		○	○	
情報システム特別講義	○	○		○	○	
情報システムの設計	○	○		○	○	
情報社会論	○	○		○	○	
情報職業論	○	○		○	○	
BIとビッグデータI	○	○	○	○	○	○
BIとビッグデータII	○	○	○	○	○	○
プロジェクトトライアル	○	○		○	○	
グローバルヘルスリテラシー	○	○		○	○	

別表4 先端経営学科 デジタルビジネス専攻 コース別カリキュラムポイント

<p>IT経営コース</p>	<p>IT社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を発見・解決し、豊かな社会の実現に寄与する人材の育成を目標とするコースです。 企業が抱えるさまざまな経営課題を解決するためには、情報社会の発展がもたらしたIoTなどの情報技術と経営の関連性を適切に理解し、経営の改善・改革を推し進めることが必要です(別表 5を参照)。</p>
<p>起業家育成コース</p>	<p>IoTなどの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなどに幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人材の育成を目標とするコースです。 地域の活性化や街づくりの課題を解決するためには、デジタルビジネスの核となるIoTなどの情報技術を活用するとともに、幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造することが必要です(別表5を参照)。</p>

別表5 先端経営学科 デジタルビジネス専攻 コース別履修推奨科目(専門教育)

【専門教育科目】

	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数		IT経営コース	起業家育成コース			
			必修	選択					
授業目 の概 要	専 門 教 育 科 目	經 営 学 系 科 目	経営学への招待	1	2		必修	必修	
			流通の仕組み	1	2		必修	必修	
			デジタルビジネス概論	1	2		必修	必修	
			自己発見ゼミナール	1	2		必修	必修	
			プロジェクトゼミナールI	2	2		必修	必修	
			プロジェクトゼミナールII	2	2		必修	必修	
			ゼミナールI	3	2		必修	必修	
			ゼミナールII	3	2		必修	必修	
			ゼミナールIII	4	2		必修	必修	
			卒業論文	4	2		必修	必修	
			簿記原理システム論I	1		2	○	○	
			簿記原理システム論II	1		2			
			経営戦略論	2		2	○	○	
			経営管理論	2		2	○		
			Webビジネス論	2		2	○	○	
			ベンチャービジネス論	2		2		○	
			知的財産権論	2		2			
			民法	2		2			
			アントレプレナーシップ論	2		2		○	
			サービスマネジメント	2		2			
			マーケティング論	2		2			
			マーケティングリサーチ	2		2	○	○	
			デジタルマーケティング	3・4		2	○	○	
			現代の財務会計論I	2		2			
			現代の財務会計論II	2		2			
			コンピュータ会計	3・4		2			
			コストマネジメント	3・4		2			
			企業倫理	3・4		2			
			経営史	3・4		2			
			商法	3・4		2			
			流通システム論	3・4		2			
			マネジメントサイエンス	3・4		2			
			プロジェクトマネジメント	3・4		2	○		
			インターンシップ	3・4		2			
			SCM	3・4		2	○		
			ERPシステム	3・4		2			
			国際経営論	3・4		2			
			地域連携論	3・4		2		○	
			現代の経営環境	3・4		2			
			情報システム学概論I	2		2	○	○	
			情報システム学概論II	2		2	○	○	
			職業指導	3・4		2			
			情報 学系 科目	ICT入門	1	2		必修	必修
				ビジネスアプリケーションI	1	2		必修	必修
				Web技術基礎	1		2		
コンピュータシステムI	1			2					
コンピュータシステムII	2			2					
ビジネスアプリケーションII	2			2					
情報科学基礎	2			2					
IT戦略とマネジメントの基礎	2			2					
観光情報学入門	2			2					
システム開発基礎I	3・4			2					
システム開発基礎II	3・4			2					
ネットワークとセキュリティI	3・4			2					
Webアプリケーション開発	3・4			2					
情報システム特別講義	3・4			2					
情報システムの設計	3・4			4					
情報社会論	3・4			2					
情報職業論	3・4			2					
学部 横断 科目	BIとビッグデータI	3・4			2	○	○		
	BIとビッグデータII	3・4		2					
	プロジェクトトライアル	3・4		2					
	グローバルヘルスリテラシー	3・4		2					

○印は、選択したコースで推奨されているコア選択科目、無印は、関心に応じて選択すべき選択科目。